

財政状況の公表

平成24年9月30日現在の市財政状況をお知らせします。この公表は、市の財政がどのように運営されているか、市民の皆さんに知っていただくため、年に2回行うものです。

財政の「今」を公表

23年度決算については、広報おうしゅう10月号でお知らせしました。今回は、24年度の予算・収入支出・市有財産・市債の状況などを公表します。市財政を理解するための資料としてご利用ください。なお、詳細は、財政課・各総合支所総務企画課、市ホームページで公表しています。

借入金と市有財産の状況

24年9月30日現在の借入金現在高は、一般会計で729億2438万円、特別会計で501億6659万円です。一世帯当たり、市民一人当たりの金額は図1のとおりです。
※24年9月末現在の人口と世帯数で計算

借入金は、長期にわたって使用する公共施設などを整備するための財源です。返済を長期間に分割することで、世代間の負担の公平、財政負担の年度間調整を行っています。また、市有財産の状況は図2のとおりです。

予算執行状況

一般会計・特別会計の予算執行状況は表1のとおりです。一般会計では収入済額が支出済額を上回っています。一部の特別会計では収入済額に対し、支出済額が上回っていますが、一般会計の収入剰金で賄うことができましたため、一時借入金はありません。

■問い合わせ先 本庁財政課 財政係（内線323・324）

図1 借入金の負担状況



図2 市有財産の状況



表1 平成24年度予算の執行状況

(単位：万円、%)

区分	当初予算額	9月30日 現在予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率	市債現在高	
一般会計(①)	638億7,670	701億7,823	273億2,584	38.9	218億5,917	31.1	729億2,438	
特別会計	国保 事業勘定	127億9,163	130億5,946	62億3,027	47.7	57億3,537	43.9	—
	直営診療施設勘定	10億2,171	10億3,129	2億3,156	22.5	4億5,516	44.1	12億8,011
	後期高齢者医療	10億2,190	10億2,661	3億4,672	33.8	2億4,862	24.2	—
	介護 保険事業勘定	97億2,814	98億7,153	44億755	44.6	38億9,479	39.5	—
	介護 サービス事業勘定	3億5,049	3億5,059	9,017	25.7	1億5,357	43.8	6億9,130
	簡易水道事業	11億9,681	13億445	3億6,741	28.2	4億8,633	37.3	81億5,893
	下水道事業	33億774	34億3,334	3億847	9.0	11億9,095	34.7	246億1,991
	農業集落排水事業	14億6,210	14億9,816	6,926	4.6	5億9,876	40.0	143億7,658
	浄化槽事業	4億1,200	4億2,243	5,906	14.0	1億617	25.1	10億3,350
	バス事業	8,908	8,908	1,244	14.0	3,739	42.0	626
米里財産区	1,243	1,243	25	2.0	69	5.6	—	
特別会計(②)	313億9,403	320億9,937	121億2,316	37.8	129億780	40.2	501億6,659	
合計(①+②)	952億7,073	1022億7,760	394億4,900	38.6	347億6,697	34.0	1,230億9,097	



希望の ひかり

第5回

市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下 ILC）計画」について最新情報を隔月連載します

今回は、最近行われた ILC の東北誘致を目指したさまざまな取り組みについて紹介します。

市内で地質調査説明会を開催

東北大学、県、市が共同主催する地質調査説明会を11月24日、江刺区の伊手と米里の両地区で開催しました。2会場合わせて約120人が来

場しました。

県は ILC 計画の概要やもたらされる経済効果について、東北大・佐貫准教授は地質調査の趣旨を、調査を行う施工業者は具体的な作業内容を説明しました。この調査結果が、北上山地の地質面での優位性を証明することにつながります。

説明後には、参加者から「建設されるとこの地域がどう変わり、どんな効果があるのか」などの質問が出され、県からは「私たちも世界から集まる研究者やその家族も、皆が快適に過ごせる国際都市を目指してまちづくりをしていく。そのために地域が参画して構想作りをするこ



説明会の様子（米里会場）



江刺区の地質調査予定地

とが大切。また、

付加価値を持った加速器関連産業を東北に誘致して、産業基盤の強化などの効果をもたらしたい」と答えました。他の参加者も次々と手を挙げ「地元が建設を受け入れて、協力していくことが最も大事だ」などの熱い思いを発言していました。

地質調査のスケジュールは、12月から岩盤を調べるボーリング調査や弾性波探査、現地踏査を行う予定です。調査対象となる土地の所有者の皆さんには、調査を受託した業者が個別に訪問し説明します。ご協力をお願いします。

ILC 誘致への願いを込めて 応援看板を設置

奥州商工会議所と市国際リニアコライダー推進連絡協議会では、市民の皆さんや本市を訪れた人に ILC 計画を広く普及する目的で、市内の国道397号沿いに ILC 計画応援看板を設置しました。設置場所は、①水沢区羽田町（中袋コミュニティ消防センター前）②江刺区田原（アグリコーポ小田代入口）③江刺区藤里（江刺南中学校駐輪場付近）の3カ所です。看板は、行き交う皆さんの目をぐっと引き付けています。

水沢区羽田町に設置した看板



県内外をめぐる動き

■11月9日、8道県の参加する北海道東北地方知事会議が取りまとめた国への提言に、ILCの東北誘致が盛り込まれる

■11月20日、岩手宮城県際セミナーが宮城県栗原市で開催される。奥州市・一関市・宮城県北部の市町が初めて一同に会し、ILCの誘致に向けて県境を越えた連携の重要性を確認

■12月7日、本市に事務局がある「いわて ILC 加速器科学推進会議」が、ILC による研究都市形成についてのセミナーを開催。さらに、中学生を対象とした ILC 読本の発行準備が進められる
国内の建設候補地は25年夏までに1カ所に絞られる予定です。市は、東北誘致に向けた市民意識の醸成と地元の熱意の発信に継続して取り組んでいきます。
■本庁政策企画課広域連携推進室（内線417）